

◆ 私たちの思い

みなさまに支えられた赤十字活動

令和7年度 事業報告・会計報告



苦しんでいる人を救いたい…

それが私たちの原点です
私たちは、いつ、いかなる時も
その思いを胸に活動しています
その活動を支えているのは、
みなさまからお寄せいただいた「活動資金」です

日本赤十字社大阪府支部では、国内災害救護や救急法等の講習をはじめ、
「いのちと健康を守る」さまざまな活動を行っています。
多くの人の心にある「苦しんでいる人を助けたいという思い」を、
赤十字が「さまざまな活動やもの」に変えて、
身近な地域から国境を越えた場所までお届けしました。
この冊子では、みなさまからお寄せいただいた活動資金をもとに、
当支部が行った数々の活動を写真や数字等でご紹介します。
あたたかいご支援、本当にありがとうございます。



令和7年度にお寄せいただいた活動資金の総額

15億 7,769万 3,210円



国内災害救護.....p4



国際活動.....p5



赤十字ボランティア.....p6



青少年赤十字.....p7



救急法等の講習.....p8



医療事業.....p9



看護師の養成.....p10



社会福祉.....p10



血液事業.....p10

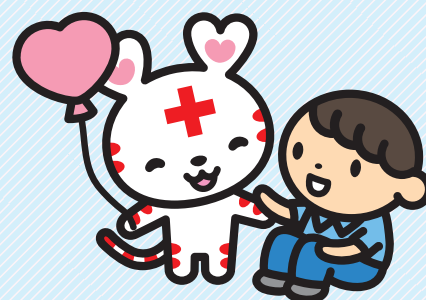


地域活動の推進.....p11



EXPO
2025

大阪・関西万博.....p12





国内災害救護

Domestic Disaster Response



訓練の開催にあたり、一堂に会する救護班
(第4ブロック合同災害救護訓練)

災害時に必要とされる救護を迅速かつ円滑に行うため、次の内容を実施しました。

- ◆ 救護班の訓練・研修
- ◆ 救護資機材の整備
- ◆ 救援物資の備蓄
- ◆ 義援金の受付



被災者の健康状態を確認する救護班員(避難所訓練)



災害対策本部の立ち上げをシミュレーションする救護班員
(災害対策本部要員研修会)

♥ 国内災害救護に活用した金額 **7,742 万円**

常時配備している医療救護班の数

20 班

大阪赤十字病院 15 班
高槻赤十字病院 5 班

救護員研修の実施回数及び参加人数

9 回 **254 人**

救護訓練の回数及び参加人数

14 回 **113 人以上**

救援物資の備蓄数(令和8年3月31日現在)

毛布 **7,663 枚**

緊急セット **1,871 個**

安眠セット **537 個**

タオルケット **400 枚**



国際活動

International Activities



世界中の災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、赤十字のネットワークを活かして、次の内容を実施しました。

- ◆紛争地の医療技術を高める支援
- ◆復興支援や被災地の防災力を高める支援
- ◆NHK海外たすけあいにおける広報・募金活動の実施
- ◆海外救援金の受付



ミャンマー赤十字社が展開する巡回診療に同行する日赤看護師
©MRCS/IFRC(ミャンマー地震救援事業)



浸水が続く地域で、住民の避難誘導を行うパキスタン
赤新月社ボランティア©PRCS(パキスタン洪水救援事業)



洪水後に水が引かない地域を調査する日赤助産師
(インドネシア防災強化事業)

♥ 国際活動に活用した金額

..... 100 万円

※国際活動は、本社事業費、NHK海外たすけあい、海外救援金を財源として活動しています

海外への派遣人数



延べ 10 人

- ・独立行政法人国際協力機構（JICA）
「シエラレオネ中央子ども病院」サービス向上プロジェクト
- ・国際赤十字・赤新月社連盟ジュネーブ事務局
（ロジスティックス部門、保健部門）
- ・バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業
- ・インドネシア防災強化事業
- ・パレスチナ赤新月社医療支援事業（レバノン）
- ・ミャンマー地震救援活動
- ・国際赤十字・赤新月社連盟アジア・大洋州地域事務所での災害対応

開発協力事業の実施

インドネシア防災強化事業

海外救援金の受付

- ・2025年 ミャンマー地震救援金
- ・2025年 パキスタン洪水救援金
- ・イラン及び周辺国人道危機救援金

など



赤十字ボランティア

Red Cross Volunteers



学生に炊き出し食の作り方を手ほどきする赤十字ボランティア

赤十字の活動は、ボランティア（奉仕団員）のみなさまに支えられており、今日も各地で活躍しています。

ボランティア育成にかかる研修や会議、ボランティア活動における運営助成などに寄付を活用しました。



被災地で使用される救護資機材の勉強会
（地域奉仕団ボランティア研修）



活動内容を共有するボランティアたち
（ボランティアのつどい）

♥ 赤十字ボランティアに活用した金額 …………… **1,860 万円**

地域赤十字
奉仕団数



72 団



227,048 人

特殊赤十字
奉仕団数※



11 団



595 人

※無線や看護、救急法等指導員資格などの技能をもった人たちによって組織されています。

青年赤十字
奉仕団数



4 団



145 人

個人ボランティア数



89 人



青少年赤十字

Junior Red Cross

未来を担う青少年が実践活動を通して自ら「気づき、考え、実行」できるよう、次の内容を実施しました。

- ◆学校における青少年赤十字活動の推進
- ◆青少年赤十字指導者・メンバーの育成



初めて三角巾に触れる児童・生徒たち
(リーダーシップ・トレーニング・センター)



子どもたちと一緒に地域の危険な場所を考える大学生メンバー



大阪城内のゴミを拾い集める高校生メンバー
(大阪城クリーンキャンペーン)

♥ 青少年赤十字に活用した金額 **1,061万円**

青少年赤十字加盟校数



357 校園所

青少年赤十字の
メンバー数



85,329 人

青少年赤十字体験学習プログラムの
実施回数及び受講者数



33 回



2,179 人

青少年赤十字活動

大阪府青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・
トレーニング・センター

1回 60 人

大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・
スタディー・センター

1回 46 人

献血呼びかけ活動

1回 21 人

大阪城公園
クリーンキャンペーン

2回 65 人

イベント参加

2回 11 人

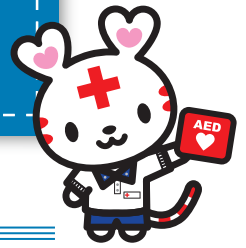
子ども食堂協力

12回 48 人



救急法等の講習

Safety Services



三角巾と副子を使って骨折の手当を学ぶ受講者
(救急法)

事故を防止し、いのちと健康を守るため、また地域における防災・減災を普及するために、次の講習を府内各地で開催しました。

- ◆救急法(心肺蘇生やAEDの使い方)
- ◆水上安全法(水の事故防止と救助の方法)
- ◆健康生活支援講習(フレイル予防と自立支援)
- ◆幼児安全法(子どもの事故予防と救命手当)
- ◆防災セミナー(防災・減災の知識や技術)



水の事故での救助方法を学ぶ受講者
(水上安全法)



乳児の胸骨圧迫の方法を学ぶ受講者
(幼児安全法)

♥ 救急法等の講習に活用した金額 **3,513 万円**

救急法の実施回数及び受講者数

201回 **8,860人**

水上安全法の実施回数及び受講者数

25回 **1,052人**

健康生活支援講習の
実施回数及び受講者数

45回
1,393人

幼児安全法の実施回数
及び受講者数

74回
1,876人

防災セミナーの実施回数
及び受講者数

47回
1,694人



医療事業

Medical Services



大阪赤十字病院・高槻赤十字病院において、患者さんに安心安全な医療を提供するため、各種医療機器の整備や施設改修等に対して助成を行いました。

- ◆ 地域に根差した医療の提供
- ◆ 国内外の災害時に医師や看護師等を派遣
- ◆ 災害時の傷病者の受入



救急で運ばれた患者に対応する医療現場の様子
(高槻赤十字病院)



超音波画像診断装置
(高槻赤十字病院)



改修工事後の玄関ホール
(大阪赤十字病院)

♥ 医療事業に活用した金額 **9,037** 万円

災害救護及び救急医療用医療機器の整備助成



X線TV装置 **1** 台
(大阪赤十字病院)



超音波画像診断装置 **1** 台
(高槻赤十字病院)

玄関ホールの改修や医療用機器の整備(施設整備)



看護師の養成

Training of Nurses



教員の指導を受ける看護学生

赤十字看護大学生の修学支援を目的とする奨学金制度により3名の学生に対して、当支部から奨学金を貸与し、将来病院において指導的な役割を担う看護師の養成に努めました。
また、病院の奨学金貸与制度に対して助成を行いました。

♥ 看護師の養成に活用した金額 **120** 万円



社会福祉

Social Welfare Services



園内の音楽イベントを楽しむ子どもたち

医療型障がい児施設である大阪赤十字病院附属大手前整肢学園に対して、利用者の生活向上のための支援を行いました。

♥ 社会福祉に活用した金額 **90** 万円



血液事業

Blood Programme



献血ルームで採血する看護師

大阪府赤十字血液センターにおいて、献血ルームと移動採血車で医療需要に応じた血液製剤を確保するため、献血者受け入れ用資機材の整備に対して助成を行いました。

♥ 血液事業に活用した金額 **384** 万円



バーコードスキャナー33台・テント3張・オイルヒーター2台・蓄電池1台



地域活動の推進

Red Cross Activities in the Area



地域の赤十字奉仕団等が
防災訓練等に参加し、防災
啓発活動を行いました。



子どもたちと炊き出しを行う
地域奉仕団員
(赤十字防災デー／守口市)



来場者に身近なものを使った
応急手当を伝える赤十字ボランティア
(赤十字防災デー／大阪市天王寺区)

♥ 地域活動の推進に活用した金額 **1億57万円**

令和7年度 活動資金収支のご報告

当支部では、赤十字活動の充実を図るため、
限られた資金の中で最大の効果を上げることが
できるよう努めています。

(大阪府支部一般会計歳入歳出決算は、支部評議員会
※1及び代議員会※2に報告し、承認を受けています。)

※1 評議員：各地域で選出された会員の代表の方

※2 代議員：各支部の評議員会で選出された代表の方

収入の部	(万円)
活動資金収入	157,769
本社交付金収入	1,946
積立金の取崩	486
テナント収入	7,086
会議室収入・負担金収入	2,489
前年度繰越金	4,304
合 計	174,080

支出の部	(万円)
災害救護体制の充実・強化 (国内災害救護)	7,742
海外での人道支援活動(国際活動)	100
赤十字奉仕団による活動(赤十字ボランティア)	1,860
青少年赤十字の活動(青少年赤十字)	1,061
いのちや健康を守るための知識と技術の普及 (救急法等の講習)	3,513
府内赤十字施設への活動支援 (医療事業・血液事業・社会福祉)	9,511
看護大学生への奨学金(看護師の養成)	120
地域における赤十字活動(地域活動の推進)	10,057
活動資金の募集・広報活動	12,077
将来に備えての積立	75,019
組織運営費	12,942
社屋の修繕費・維持管理費	4,533
本社への拠出	22,930
翌年度への繰越	12,615
合 計	174,080

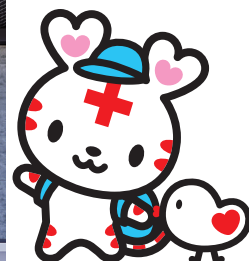
※当初の見込みを上回る活動資金について、災害救護活動や将来の施設整備のための
積立を行いました。

※2025年ミャンマー地震救援金等の海外救援金は、収入・支出とも未計上。

EXPO
2025

大阪・関西万博

Expo 2025 Osaka, Kansai



令和7年4月に開幕した大阪・関西万博において、日本赤十字社は「国際赤十字・赤新月運動館」の企画・運営を担いました。当支部は開幕前から本社・府内赤十字施設と連携し、パビリオン運営や各種イベントの企画・支援を担いました。

1. パビリオンの概要

「人間を救うのは、人間だ。The Power of Humanity」のスローガンを掲げ、「気づく」「考える」「実行する」の三つのゾーンでの体験を通じて、人道危機の現状を知り、自分に何ができるかを考えるきっかけとなる場を目指しました。

パビリオン来館者

 **310,033人**


赤十字パビリオンに寄せられた来館者の声

万博の中で一番心に残った。楽しいだけではない、とても考えさせられる良いパビリオンだった。



国境に関係なく、人が人を支える姿は胸が熱くなります。忘れないように、日々大切にしたいと思います。



心揺さぶられる素敵なパビリオンで、赤十字の提唱する人道的価値観についての理解が深まりました。赤十字ボランティアの存在も初めて知り、実際に始める予定です。



2. パビリオン運営

● スタッフ活動人数

施設・所属名	活動人数 (実人数)	活動人数 (延べ人数)
大阪赤十字病院	53人	195人
高槻赤十字病院	27人	66人
大阪府赤十字血液センター	35人	235人
日本赤十字社近畿ブロック血液センター	48人	128人
日本赤十字社大阪府支部	22人	416人
赤十字ボランティア 青少年赤十字指導者・メンバー	68人	312人
計	253人	1,352人

● パビリオンスタッフは、来館者の誘導や説明を交代で行いました。

パビリオン運営に参加したスタッフの声

「赤十字の活動に参加するにはどうしたらいいですか。」と聞かれたことが印象に残っています。



「一番心に残ったパビリオンです。」と涙しながら伝えてくださった方がいました。



メッセージに「あのとき助けていただき、ありがとうございました。忘れません。」と残している方がいました。日赤の誰かの行動がその人の助けとなり、今につながっていることを実感できました。



すぐる
安井 優さん
(大阪府支部)

生まれつきの障がいがあり、車椅子生活を送りながら10年間、赤十字ボランティアを続けてきた安井優さん。赤十字パビリオンではZONE3の案内役を務めました。赤十字の人道の心を力強く語る安井さんの言葉に引き込まれる来館者は多く、「車椅子で活動しているスタッフさんの姿を見て、自分にもできることがあると勇気づけられた。」といった声も聞かれました。安井さんは「私自身、最初は困っている人を見かけてもなかなか声がかけれませんでした。皆さんにも勇気を出して『大丈夫ですか』と声をかけられる人になってほしい。このパビリオンが赤十字の人道の心に触れるきっかけになればと強く思います。」と語ってくれました。

熱中症対策

夏期の来館者及びスタッフの安全確保のため、クイックテント3張、冷風機2台及び蓄電池3台を搬入・設置しました。

3. イベント

5月8日 赤十字スペシャルデー

外務副大臣及び国際赤十字・赤新月常置委員会委員長の挨拶のあと、青少年赤十字加盟校である早稲田大阪高等学校のウィンドバンドによるマーチング演奏が行われました。また、阪神・淡路大震災からの復興を願う曲「しあわせ運べるように」を、作者である神戸親和大学 臼井 真教授の指揮で合唱が披露されました。



5月8日～10日

赤十字ウィーク「未来の野外診療所 ～ゼロ・エミッションの災害医療～」

日本赤十字看護大附属災害救護研究所が企画し、大阪赤十字病院国際医療救援部の協力により、次世代災害医療用テント、再生可能エネルギーによる発電、医療ロボットなどを展示しました。



5月21日・9月30日

有功会ツアー

令和7年度の特別事業として「国際赤十字・赤新月運動館 見学ツアー」を企画しました。計151名の有功会員が参加され、会員同士の親睦が深まる機会になりました。



9月15日 第4ブロック青少年赤十字指導者研修会

近畿2府4県で青少年赤十字活動を実践している先生方が集まり、赤十字が提供する教材の活用紹介や各校の活動共有、赤十字パビリオンの見学を行いました。

9月29日 ワールド・ファーストエイド・デーin万博

世界救急法の日にあわせ、救急法イベントを開催しました。新日本プロレス所属の真壁刀義選手とマスター・ワト選手にボランティアで協力いただき、トークショーや来場者と一緒に心肺蘇生を体験してもらいました。



10月6日・7日 献血の実施

パビリオン来館者から献血を希望する声が多く寄せられたため、万博会場で献血を実施しました。400人を超える協力があり、大盛況でした。

赤十字パビリオン来館後、近畿2府4県の献血ルームで献血した人に記念品を贈呈する「万博×献血キャンペーン」も好評を博しました。





活動資金にご協力ください

日本赤十字社大阪府支部では、国内災害救護、国際活動、救急法等の講習をはじめ、「いのちと健康を守る」さまざまな赤十字活動を行っています。
これらは、みなさまからお寄せいただく「活動資金」によって支えられています。

郵便局・ゆうちょ銀行からの
お振込によるご協力

口座番号:00990-4-54795

加入者名:日本赤十字社大阪府支部

※ 窓口からのお振込は、手数料が免除されます。

※ 銀行(りそな、三井住友、三菱UFJ、みずほ)からお振込みの場合は、手数料が免除となる振込用紙をお送りしますので、下記のお問い合わせ先までご請求下さい。

クレジットカードによるご協力

クレジットカードの決済でご協力いただけます。

※ 日本赤十字社のホームページ(<https://donate.jrc.or.jp/lp/>)から手続きをお願いします。



口座引落によるご協力

指定の預金口座から自動引落でご協力いただけます。

※ 専用の申込用紙に必要事項を記載していただく必要がありますので、下記のお問い合わせ先までご請求下さい。

遺贈や相続財産によるご協力 遺贈による寄付や相続財産の寄付でご協力いただけます。

■遺贈するには

遺言による方法で、財産の受取人を日本赤十字社とし、その用途を「日本赤十字社大阪府支部」の事業に指定することで、大阪府内の地域における活動に役立てることができます。

■遺産の寄付には相続税がかかりません

ご遺族の方が相続された財産を相続税の申告期限内(相続開始から10か月以内)に日本赤十字社大阪府支部にご寄付いただいた場合、寄付された財産には相続税がかかりません。

※ 詳細については、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

日本赤十字社にご寄付をいただいた場合に税制上の優遇措置が受けられます

日本赤十字社にご寄付いただいた活動資金は、個人の所得税・住民税や法人税に対する優遇措置が受けられます。

※ 詳細については、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

表彰制度について

活動資金へのご協力に対し、表彰制度を設けております。

※ 詳細については、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

日本赤十字社大阪府支部 振興課
(平日:午前9時～午後5時30分)

☎ 06-6943-0707



日本赤十字社 大阪府支部
Japanese Red Cross Society

〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-7
TEL:06-6943-0705(代表)
<https://www.jrc.or.jp/chapter/osaka/>

日本赤十字社
大阪府支部

